

# 令和3年度 岩手県農業研究センター試験研究成果書

区分	指導	題名	キャベツ10月どり作型における「秋さやか」及び「夏さやか」の栽培条件		
[要約] キャベツ10月どり作型において「秋さやか」に適する栽培条件は株間30cm、窒素施肥量24kg/10aである。「夏さやか」に適する栽培条件は株間35cm、窒素施肥量20kg/10aである。これらの栽培条件では、標準の栽培条件と比較して収穫可能株数が増加する。					
キーワード	キャベツ	10月どり	栽培条件	県北農業研究所 園芸研究室	

## 1 背景とねらい

10月まで長期安定出荷できる春系キャベツ産地を確立するため、「秋さやか」と「夏さやか」の両品種を10月どり作型で用いる場合の栽培条件について検討を行った。

【平成27年度試験研究を要望された課題「キャベツ長期安定出荷技術の確立」（八幡平農業改良普及センター）】

## 2 成果の内容

(1) 10月どり作型に適する栽培条件は以下のとおりである(図1、図2、表2、表3、参考資料1)。

表1 10月どり作型に適する栽培条件

品種	定植晩限	株間 (cm)	窒素施肥量 (kg/10a)
秋さやか	8月上旬	30	24
夏さやか		35	20

## 3 成果活用上の留意事項

- (1) 当試験では、岩手県野菜栽培技術指針及び施肥基準に基づき、標準の栽培条件を条間60cm×株間30cm(5,555株/10a)、窒素施肥量を16kg/10a(夏秋どりキャベツ)とした。
- (2) 県北農業研究所(軽米町)で実施した結果である。
- (3) 8月中旬以降の定植は、収穫時期が11月以降になる。
- (4) 定植以降の気象条件の影響により、収穫期が前後する場合がある(表2、表3、図3)。
- (5) 栽培期間中は、病害虫の防除を徹底する。

## 4 成果の活用方法等

- (1) 適用地帯又は対象者等 県中北部 農業普及員、JA営農指導員
- (2) 期待する活用効果

10月の出荷量が増加し、長期安定出荷が可能となる。

## 5 当該事項に係る試験研究課題

(H27-12)春系キャベツ産地力強化のための安定生産技術の確立 [H27~R3/県単研究]

## 6 研究担当者

細越翔太・赤坂尚生・小野寺忠夫

## 7 参考資料・文献

- (1) 令和3年度岩手県農研試験研究成果書「キャベツ10月どり作型の適品種「秋さやか」の特性」
- (2) 平成10年度岩手県農研試験研究成果書「品種 キャベツ『夏さやか』」

## 8 試験成績の概要(具体的なデータ)

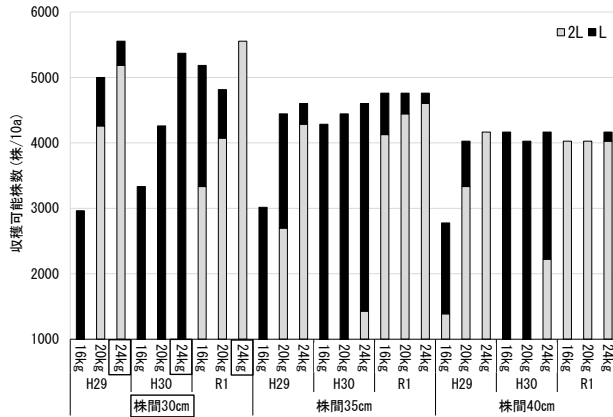


図1 「秋さやか」の収穫可能株数 (H29~R1)  
※1) 収穫可能株数は定植株数とL規格以上割合から算出

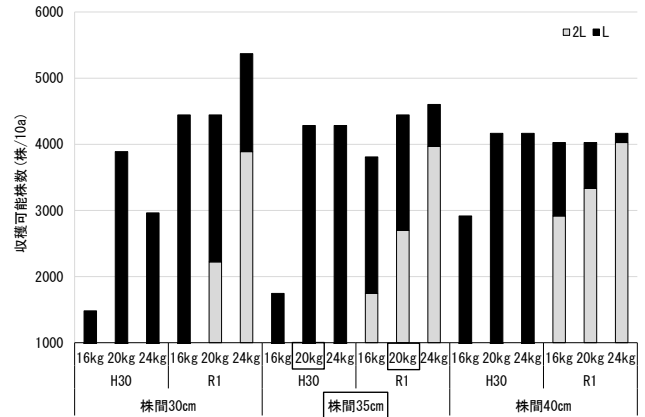


図2 「夏さやか」の収穫可能株数 (H30~R1)

表2 「秋さやか」の栽培条件と収量の関係 (H29~R1)

株間 (cm)	窒素 施肥量 (kg/10a)	定植株数 (株/10a、標 準との比)	調整重(g)			規格別割合(%)								
			H29	H30	R1	H29			H30			R1		
						2L	L	M以下	2L	L	M以下	2L	L	M以下
30	16	5555	1117	1022	1353	10	43	47	0	60	40	60	33	7
	20		1139	1145	1392	77	13	13	3	73	23	73	13	13
	24		1212	1239	1556	93	7	0	3	93	3	100	0	0
35	16	4761 (0.86)	1414	1197	1488	13	50	37	7	83	10	87	13	0
	20		1333	1294	1615	57	37	7	20	73	7	93	7	0
	24		1406	1346	1629	90	7	3	30	67	3	97	3	0
40	16	4166 (0.75)	1531	1302	1727	33	33	33	7	93	0	97	0	3
	20		1575	1359	1827	80	17	3	20	77	3	97	0	3
	24		1722	1517	1899	100	0	0	53	47	0	97	3	0

※1 収穫日(定植後日数)H29:10/30(83) H30:10/18(66) R1:10/15(67)

※2 H29は低温により収穫期が遅れた R1は生育適温で経過し、収穫期が早まった

表3 「夏さやか」の栽培条件と収量の関係 (H30~R1)

株間 (cm)	窒素 施肥量 (kg/10a)	定植株数 (株/10a、標 準との比)	調整重(g)		規格別割合(%)								
			H30	R1	H30			R1					
					2L	L	M以下	2L	L	M以下			
30	16	5555	863	1156	0	27	73	0	80	20			
	20		1105	1229	3	67	30	40	40	20			
	24		1028	1357	0	53	47	70	27	3			
35	16	4761 (0.86)	928	1249	0	37	63	37	43	20			
	20		1161	1352	0	90	10	57	37	7			
	24		1240	1456	3	87	10	83	13	3			
40	16	4166 (0.75)	1087	1397	0	70	30	70	27	3			
	20		1354	1394	20	80	0	80	17	3			
	24		1272	1615	7	93	0	97	3	0			

※1 収穫日は「秋さやか」と共通

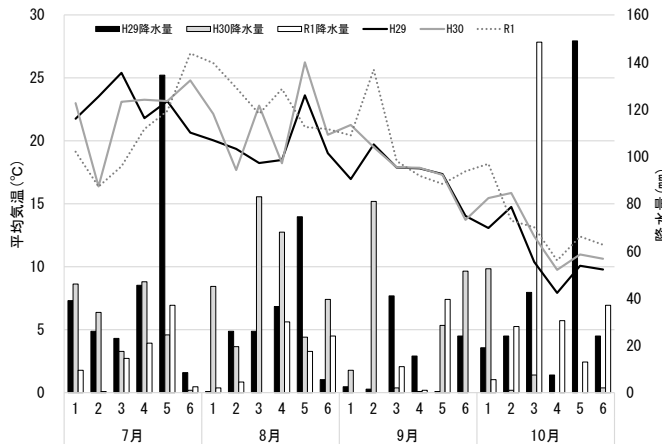


図3 試験期間中の半月別気象経過 (H29~R1)

※1) 観測値は東北農業研究所(軽米)、降水量は軽米アメダスにより補完

### 耕種概要

- 播種日 H29 7/14 H30 7/11 R1 7/16
- 育苗 200穴トレイ、育苗培土「セル苗専用N170」  
(N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=170-1200-190mg/ℓ)
- ほ場 畑地、黒ボク土  
栽培前に牛ふんたい肥2t/10a施用  
キャベツ専用肥料(N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=15-17-15%)  
N16区は基肥N-P<sub>2</sub>O<sub>5</sub>-K<sub>2</sub>O=16-18-16kg/10a  
N20区、N24区は硫酸21%により窒素施肥量を調整
- 定植 H29 8/8 H30 8/13 R1 8/9